

令和5年度 短期海外研修

# ドイツ、オランダとの文化交流の振興に向けた現地調査

期 間 令和5年11月28日（火）～12月9日（土）

研修先 ドイツ連邦共和国

（クストパラスト美術館、デュッセルドルフ市文化振興部  
インゼル・ホンブロイヒ美術館 他）

オランダ王国

（NDSM、STRATT MUSEUM、ライクスアカデミー 他）

- 目 的
- ・現代アーティスト支援等の先進的取組について学ぶ
  - ・アートを通じた国際交流事業について学び、  
アーティストの招へいに向けた調査を実施する
  - ・作品保存及び展示方法の先進的取組について学ぶ

研修参加者 環境生活部スポーツ・文化局

千葉県立美術館 副館長 中松れい

研究員 神野有紗



【アートを通じた国際交流事業】ドイツでは、国外アーティストの滞在制作を支援するため居住可能なアトリエを提供している

## ■現代アーティスト支援等の先進的取組

### 多様な作品発表の場を創出

学生からプロアーティストまで幅広い層が作品発表できる場として美術館の他、ストリートやトンネル内のギャラリーなど、多様な場が用意されていた。

当館でも学生や市民団体による展覧会が開催されているが、展示室内だけでなく、多様な発表の場を創出することで、アーティストの支援やアートをより身近に感じられる環境づくりに貢献できると考えられる。



ドイツ・デュッセルドルフの美術館「KIT (トンネル美術館)」での展示

### 専門スタッフによる

### アーティストのサポート

オランダにはプロアーティストの創作活動を支援する国立機関があり、様々な専門スタッフが創作面・技術面でアーティストをサポートしていた。

本県でもこうした支援を参考に、アーティストのより活発な創作活動を促していきたい。



オランダ国立機関ライクスアカデミーでのアーティストへの技術支援

## ■アートを通じた国際交流事業・アーティストの招へいに向けた調査

両国ともアートを通じた国際交流事業として、国外からのアーティスト受け入れに継続的な支援が行われており、国外アーティストとの交流が、現地の創作活動への刺激や文化活動の活性化につながるような様々な取組が行われていた。

本県におけるアーティスト招へいでも、中長期的な事業計画に基づく継続的な支援、地域活性化につながる取組の事例として学ぶべき点が多かった。



ドイツでは国外アーティストに居住可能なアトリエの提供や滞在費・制作費の援助、作品発表の機会を提供。

【写真】デュッセルドルフにある居住可能なアトリエ



オランダでは国が外国籍アーティストに展覧会開催や滞在制作を支援。地域団体が廃工場などをアトリエに活用する活動が各地で行われ、地域活性化にもつながっている。

【写真】船舶工場跡地を利用した施設「NDSM」

## ■作品保存及び展示方法の先進的取組

オランダ国立美術館では、長期的・計画的に作品修復を行うとともに、その概要を作品脇に掲示し作品保存の理解促進に資する取組も行われていた。

コレクション保全の先進的な取組として当館においても取り入れていきたい。